

シリーズ開幕戦で準優勝し表彰台に立つ笠江友和(栃木県ツインリンクもてぎ)



### 延岡出身

# 笠江

カーレースのFJ1600もてぎシリーズはこのほかに、栃木県のツイン

FJ1600もてぎシリーズ

リンクもてぎで開幕戦決勝を争い、延岡市出身の笠江友和(27)は延岡西

高卒、ZAP SPEED所属、e-leeceが準優勝した。

昨年度は同シリーズで順調にポイントを重ねながら最終盤のマシン故障に苦しめられた笠江。

チャンピオン決定戦出場は断念したが、装備も新たに今年度も上々のスタートで、さらなる活躍が期待される。予選は雨天で路面温度

## 開幕戦上タススタート

た。決勝もウェット状態。笠江は発車時にホイールスピンさせすぎ7位まで順位を落としてしまった。第1カーブでは前車が巻き上げる水煙で視界はほぼゼロ。自分の居場所を確認するのが精いっぱい。状況が続いた。

だが笠江は、「ウェットなので今回は長いレースになる」と予想。集中力を切らさず、すきを見逃さないようにじゅくりと走らせた。案の定、終盤

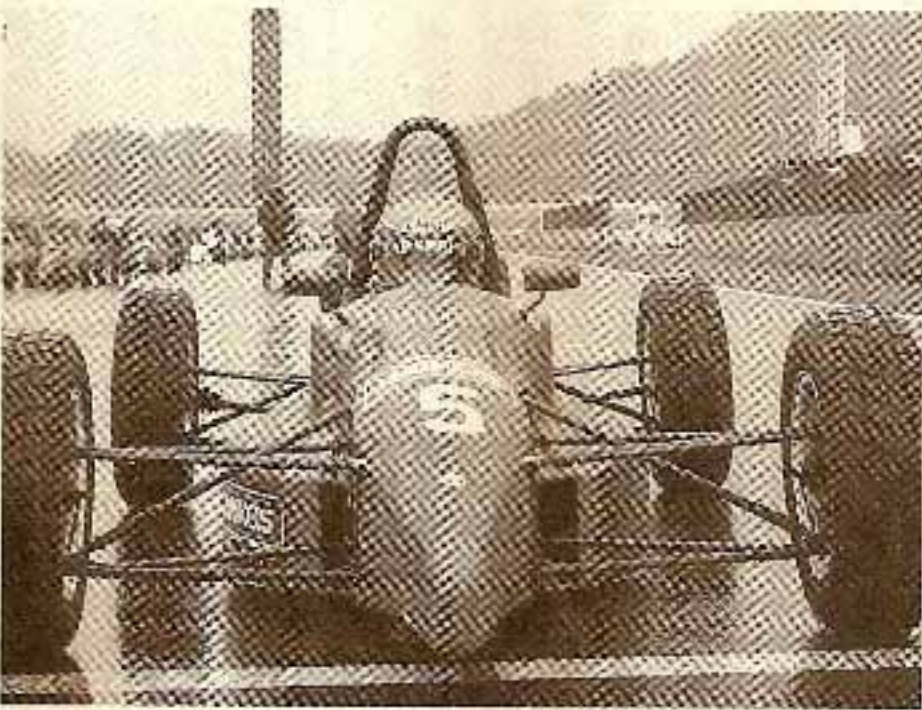
は他車のスピン、コースアウトが続出。笠江はそれを的確にかわして3位まで浮上した。

前車も射程にとどまらず、背後に着けるとウオータースクリーン(フロントガラスがぬれて視界が悪くなる状態)になるため、なかなか前に出られず苦戦。笠江は9周目、「このまま終われない」と勝負に出る。

下りの直線で相手の尾灯だけを頼りに背後に潜ると、直角コーナーをブ

レーキングでパス。そのまま抜き去り、粘り強くトップを迫ったが、あと一歩及ばなかった。

優勝した同門ZAPの安達元氣とレース前に誓ったという1・2フィニッシュの約束を実現した笠江。「僕がトップになる予定だったのですが」と悔しさ半分だが、「次回はスタートをしっかりと決め、必ずトップでチャッカーを受けたいと思います」とさわやかに闘志を語っている。



スタートポジションで待機する笠江友和(栃木県ツインリンクもてぎ)

「FJ1600もてぎシリーズ開幕戦」

- ▽予選 ①安達元氣 2分26秒848 ③笠江友和(ZAP・elee) 2分27秒153
- ▽決勝 ①安達元氣 24分59秒824 (ベストラップ2分27秒852)
- ②笠江友和 25分14秒998 (同2分27秒840)